

JR東労組で明るく働きがいのある職場を創ろう！

～「JR東労組に入っているメリットは何ですか？」との問い合わせに、お答えします！～

メリット① 雇用、出向期間、ライフサイクル制度の期間等の「労働条件」を守る

JR東労組は、会社と様々な「労働協約」を結んでおり、現在も有効です。法律上、労働協約は就業規則よりも強い効力があります。JR東労組組合員でなくなってしまうと、労働協約での保護を失ってしまいます。

例：雇用

労働協約で、経営上の理由による解雇（いわゆるリストラ）の場合にはJR東労組と協議することを定めています。これによって、安易な解雇が生じないようにしています。

（就業規則には、解雇時の協議について記述がありません）

例：「出向」や「ライフサイクルの深度化」の期間

労働協約で、期間は原則として3年以内と定めることで、行きっぱなしを防いでいます。

（就業規則には、原則3年の記述がありません）

例：要員の配置方法

労働協約で、設備職場の新入社員は6ヶ月間は標準数として運用しないことを定めることで、技術継承なく一人前の戦力として扱われることを防いでいます。

（就業規則には記述がありません）

メリット② 団体交渉によって、職場の問題を解決できる

団体交渉によって、職場の問題を解決しています。例えば「年休が入らず、このままでは失効する」という意見を受けて、年休の失効を防いできました。また、「年休がほぼ消化できる」「定期昇給がある」等の労働条件や、「管理手当等や子ども手当の増額」「エルダーの本体勤務枠拡大」もJR東労組で要求し、会社との真摯な議論によって改善してきました。

会社の発展のもと組合員・家族の幸福を目指すのが、JR東労組の考え方です。

メリット③ 共済制度、ろうきん制度を割安で利用できる

結婚や出産等で給付する「総合共済」や、入院等で給付する「JRセット共済」は、JR東労組所属を前提に割安な制度としています。

（脱退すると強制退会となり、申請と給付の権利を喪失します）

「ろうきん」で車や住宅のローンを低金利で組んだり、積立金として毎月ろうきん口座に自動引落しする制度も、JR東労組組合員であるからこそ優遇しています。

（脱退すると自動引き落としが強制終了となります）

メリット④ 困った時の「助け合い」ができる

東日本大震災の時には、組合員から募った救援物資を被災地に届けたほか、自宅が崩壊した組合員に対するお見舞いのカンパ、ボランティアなども取り組みました。「困った時は助け合い」を大切にするのがJR東労組です。

メリット⑤ みんなで楽しめる

分会主催の「歓送迎会」「激励会」や、サマーキャンプなどの「レク」、レールクラブなどの「サークル」は、組合員の結束を強める為に開催し、一定の金銭的補助も行っています。家族と共に皆で楽しめるのも東労組ならではの魅力です。



▲レールクラブ例会(モノレールでの貸切ビール列車の旅)



**「自分さえ良ければ」ではなく「仲間とともに」が東労組の原則です！
「組合員のためのJR東労組」の原点に踏まえ、みんなでがんばろう！**